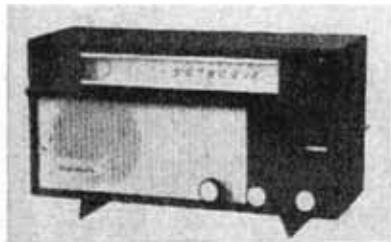


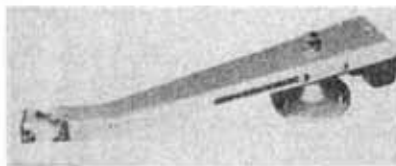
山水のアンプ

PM-856 型は2バンド・Hi-Fi アンプで、受信周波数は535-1000kc と3.5-11Mc の2バンド、可変電圧スーパー方式のチューナとプリ、メイン・アンプの組込綜合型で、メイン・アンプ部は6AR5PP出力6W、増設部品は35-30000c/s 1db、歪率1%、プリアンプ部は高出力、高出力マグネチック型、クリスタル型PUの両用で、テープ、マイクの使用も可能、詳細はつきへ(東京都渋谷区代々木上原町 1315)



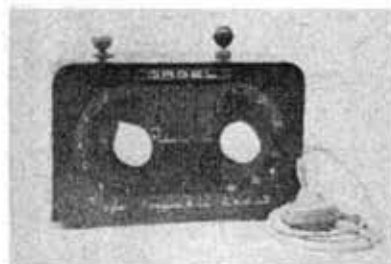
フィリップのキャビ・キット

写真は家庭用標準スーパーのキャビキットとして発売されたもので、音響的にも考慮がはらわれている。シャーシも組み立てやすいように設計されている。ラインアップは6WC5-80HK (6R5)、スピーカーは6号、大きさ490×270×195mm。(東京都足立区栗原町 1160 株式会社日本工業)



ニートのオイルダンプ・アーム

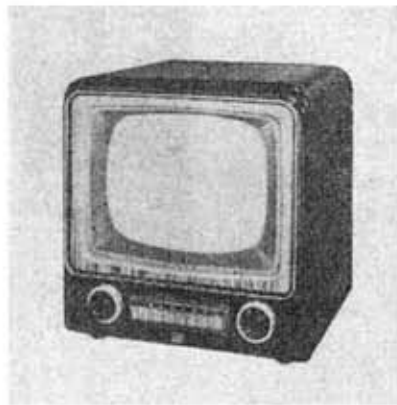
GA-5 はさきに発売されたGA-3と同じ性能であるが、普及型として低価格になっている。価格3600円。(東京都千代田区神田区錦町1の4ニータ音響株式会社)



村山無線のオルゴール・ラジオ

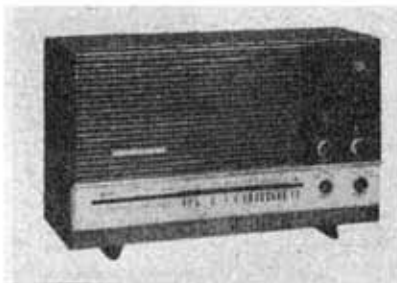
写真は今度FOR型として村山無線から発表されたオルゴール・ラジオで、受信周波数は525-

1000kc。オルゴールは三徳製、ダイヤニウム・ダイオードは東京通信工業製、大きさは120×75×50mm。(横浜市神奈川区白旗町 118)



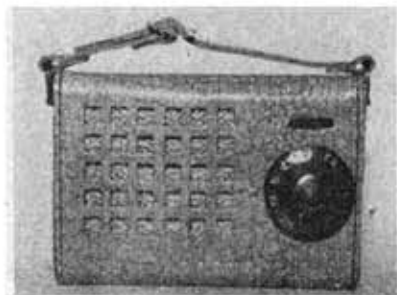
ビクターのテレビ

ビクタービジョン 14T-960 型は11チャンネル総論専用14吋卓上型テレビで、価格はつぎの通り、回路方式：インタキリア方式 消費電力：125W 使用球：B管をふくめて15球 受像管14RP4A 90度偏向メタル・ア スピーカ：6.5" PM 音出力：最大1W 寸法：450×400×420mm 79,890円。



サンヨーのラジオ

SS-920 の価格はつぎの通り、型式：5回路増設1段マジック・アイトキスーパー 使用真空管：6R5、6BD6、6R-DHV2 (授合管) 感度：極微電界線 電氣出力：3W スピーカ：P-7S 2個 大きさ：600×330×220mm。



グローバルのポータブル

写真はさきに発売されたGR-7100 の姉妹品で、その本体を革茶ケースに収めてある。大きさは140×90×40mm という小型で、使用真空管は1R5-SF、1T4-SF、1S5-SF、3S4-SFで、スピーカーは2.5"、イヤホンも使用可能である。使用電池はUM-2 (1.5V) BL-145L (67.5V) であるが、BL-030L (45V) でも使用になる。(東京都大田区新倉崎の本町 473)



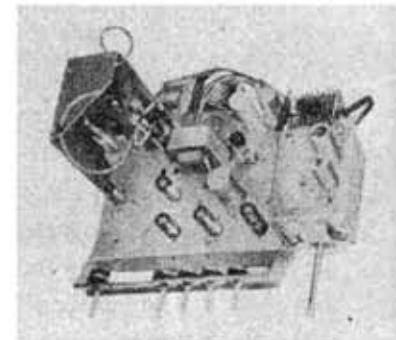
電音研のアンプ

DOK-1008 型は3in1アンプで、ロー・コスト化をはかるため、ラジオ・チューナ部は6R5、6BD6、6AV6のサインアップで2極管純波、MG、PUのイコライザはNFタイプ、トーン・コントロールはCRタイプの回路をとり、低周波増幅は充分なゲインを得るために6AV6 3本で増幅し、終段は6AR5のPPで出力約5Wを得ている。(東京都大田区六郷3の25 KK電気音響研究所)



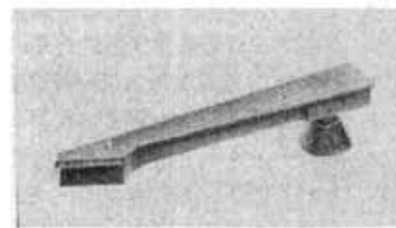
ミツミのプラグイン・スイッチ

PS-182 はポータブル・ラジオ用8回路2接点プラグイン・スイッチで、従来のものにくらべて小型にできており、ポータブル・セットのデザイン上のスペースの点にも考慮がはらわれている。(東京都品川区大崎本町2の446 三菱電機KK)



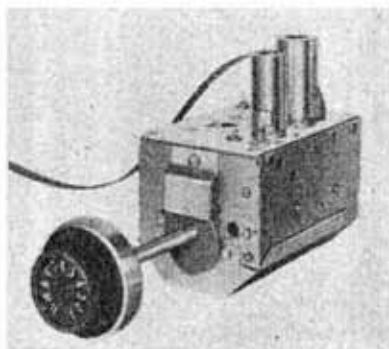
フルタカのテレビ

8-A型は先に発売した8型にカセット・チューナを使用したもので、感度がいっそうよくなっている。価格は8型の値段と同じく29,900円。



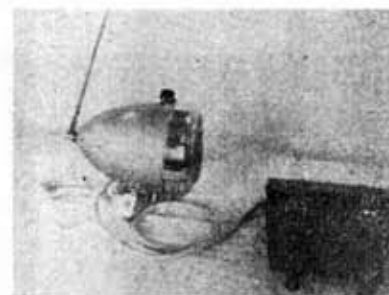
ナショナルのピックアップ

WX-24 型はLP-SP両用のクリスタル・ピック・アップで、粘着性アーマチュアの使用により、従来のピックにあったような使用しない方の針の共振により再生に悪影響をあたえることがない。アームの真直の調整が可能。定格はつぎの通り。LP:出力:負荷抵抗 500kΩ 1000c/s で0.4V 針圧:8g レスポンス:40-12,000c/s SP:出力:1.5V 針圧:8g レスポンス:40-10,000c/s アーム全長:273mm 針先のモータ板よりの高さ:20.5-35mm。



スターの11チャンネル・チューナ

TU-11の規格はつぎの通り。受信周波数:11チャンネル 切替機構:ターレット型 回路方式:ブロードバンド・グリッド・カスコード増幅型 使用真空管:高周波増幅管 6BQ7A。周波混合は6J6 利得:35-37db 映像比:50db以上 雑音係数:7-8db 定在波比:2.5以下 中間周波数:映像 27.0Mc 音声 22.5Mc 映像IF第1段自励。



オータのポータブル

写真はオータから発売された自転車用ポータブル・ラジオMODEL-ORR-180で、対腐性および指向性による音量変化の防止がしてある。使用電源はA電池OM-1A2本、B電池がBL-1451本、5,300円。(東京都大田区久ヶ原町324オータポータブルKK)



ホームのテープ・レコーダ

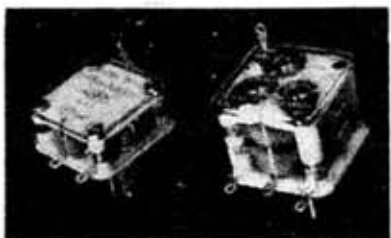
ジュニアTP-7型は従来のTD-5型に数点の改良を加えたもの。特殊ヒータを使用したダイレ

クト・ドライブ・システムとバンド・ブレーキを採用し、ヘッドはシュア製。アンプにはLCピーキングを使って周波数特性を改善している。自分の間は配線済みキットとして発売される。価格は真空管テープをふくめて20,000円台の予定。(東京都千代田区神田小川町2の3 KK電気堂)



フォスターのスピーカ

G-105は15⁷の小型スピーカで、トランジスタ、ポケット・ラジオ用として特選である。主な規格はつぎの通り。インピーダンス:8Ω 最低共振周波数:440-530c/s 再生周波数帯域:350-8900c/s マグネット・サイズ:15φ×9mm 最大入力:150mW 取付穴パッパ径 35mm。



ミツミのポリバリコン2種

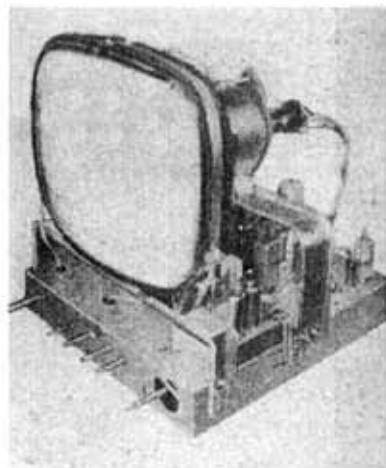
右側のMODEL-PVC13Sは主として真空管用として設計された3連スーパー用で、容量も従来のものより大きくなっている。最大容量はANT:26μF OSC:12μF RF:26μFで、寸法は28×28×22mm。左側のMODEL-PCV1は規格は従来のものと同じだが、デザインが変り、純白スチロール基板、スチロール・カバーがふせてある。最大容量 290μF 寸法 28×28×12mm。(都内品川区大崎本町2の446)



レックスのアウトブット

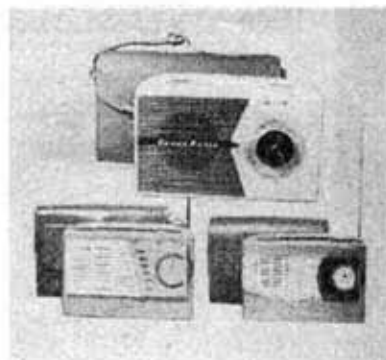
RO-223はプラスチック製ケースにおさまっていて、巻線は平衡分割巻きである。2次インピーダンスはシリーズ・タップ方式。また1次2次

インピーダンスともユニバーサル式にタップが出ているので、各種用途にマッチする。規格はつぎの通り。出力:50c/sで10W 定損失:1db 周波数特性:1次10K,2次16M 帯域40c/s-5kc1db 1次インピーダンス:5.8,10kΩ 2次インピーダンス:4.8,16M 出力管:2A3, V6, Q5, F6, R5, 42 大きさ:80×63×58mm。(東京都足立区小台町 687 巴電機製)



ユニバースのテレビ・キット

ACP-1490は90°傾角超短距離型で、規格はつぎの通り。感度:70μV/m チューナ:ターレット・カスコード型の12チャンネル 音声検波:ロック・オンレーク方式 映像IF:3段ゲルマニウム検波 AGC:平均値型 AFC:パルス幅受検管:14RP4 90°メタル・バック 球管B管を除いて16球1石。(東京都千代田区神田船場町3の4 浦田電機工業KK)



クラウンのポータブル3種

写真はクラウンから発表されたポータブル3種で、上からPR-535, PR-585, PR-570である。535は4球スーパー、SPは2.5° パーマネント・ダイナミック。585は3ウエイ高周波増幅つき5球スーパーで、6段伸縮ロッド・アンテナつき。570は3ウエイ4球スーパー。値段はそれぞれ 6900円、12600円、9800円。

このページは、国内メーカーの新製品速報欄です。掲載は原稿先着順。取捨は編集部に一任されています。(Y.S)